

大空の子

学校教育目標

- 知恵をみがき
- 清い心をはぐくみ
- 身体をきたえる子

令和2年3月5日(木)
帯広市立大空小学校
校長 川上 裕 明

コロナウイルスの猛威

北海道内小・中学校2月27日～3月4日の臨時休校に続き、全道の小・中・高・特別支援学校の3月24日までの臨時休校。日本国内が異常な状態であることがわかります。北海道は、鈴木知事から「緊急事態宣言」が出され、街全体がひんやりした空気に包まれているようです。マスクをはじめとした物不足、産業の停滞、低学年児童の保護者の方にはお仕事の都合等にも影響しているかと思えます。

児童生徒の感染予防のための臨時休校で、保護者・ご家族の皆様には大変ご心配をおかけしております。帯広市教育委員会も安全メール等でスピーディーな連絡をくれており、本校もその指導に合わせて児童への対応、今後の学校運営の計画と変更に取り組んでおりますが、情報が充分ではない「見えない敵」に苦戦しているところです。

北海道は国内でも特に罹患者が多い地域で、亡くなった方も複数あります。児童やご家族の皆様が罹患・重症化しないよう、これまで同様にご配慮をよろしくお願いします。

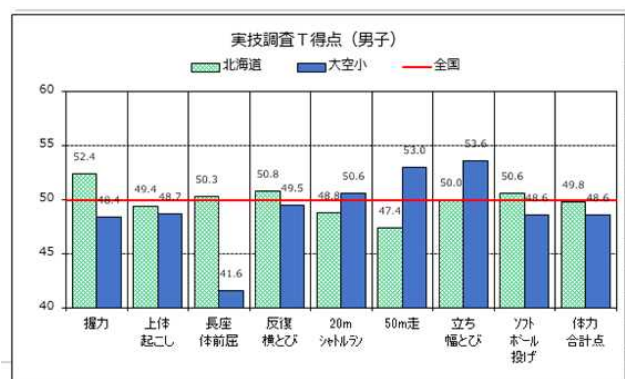
全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

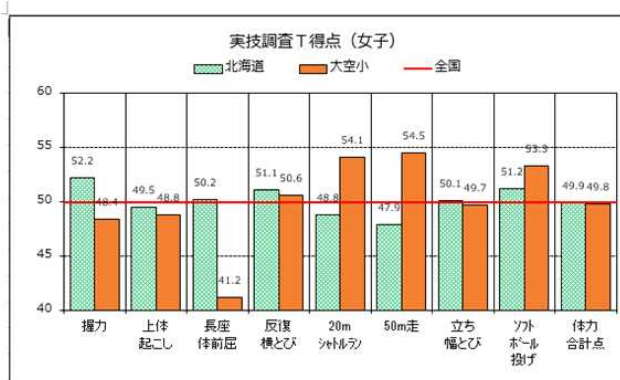
全国の小学5年生が、8種目の新体力テストと質問紙に取り組み、その結果を全国平均等と比較しながら、自校の教育活動の改善に生かすのが目的です。

大空小学校では1～6年生全員が新体力テストに取り組んでいますが、ここでは5年生と全国、全道を比較しながら考えてみます。

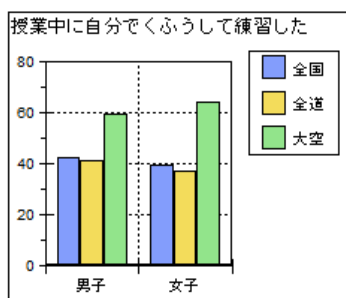
〇5年生男子は「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」3種目で全国平均を上回りました。特に、走力(持久力)、瞬発力、敏捷性が高いといえます。「握力」「上体起こし」「反復横とび」は、全国平均に近い記録でした。

女子は「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」の4種目で全国平均を上回りました。特に瞬発力、敏捷性、筋持久力、全身持久力が高いといえます。「握力」「上体起こし」「立ち幅とび」は、全国平均に近い記録でした。





●今後は、柔軟性の向上に加え、正しい測定方法等を体育の時間を中心に指導します。
○質問紙では、「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「授業中に自分でくふうして練習した」「授業外の時間に自分で練習した」と回答した児童の割合が全国を上回りました。児童の意識や意欲



が向上していることがわかります。

●今後は、運動や生活習慣の改善に向けた取組を児童自ら見つけ、日常的に体力向上が行われるような環境づくりを継続して、教育活動を行っていきます。



がんばる大空っ子
6年 □□□くん
「障害者週間」ポスターコンクール
最優秀作品

◇◇校長室から◇◇ 令和2年度から変わること(5)

小学校で行うプログラミング教育の目的は、コンピュータを活用しながら「プログラミング的思考」を養うことです。

「プログラミング的思考」とは、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力（文部科学省教育課程部会）」のことです。

新しく「プログラミング科」などの教科ができるわけではなく、各教科や総合的な学習などで、学習の方法としてプログラミングを用いていくのです。



大空小学校では、先生方の勉強会で「自走式ロボットを使ったプログラミング」や「コンピュータ上で行う、教科と関わるプログラミングソフトの活用」を学ぶことができました。いくつかの学年では、すでにプログラミングソフトを使った授業を試行しています。4月からは、それらをより体系的に整理し、各学年ごとに授業に取り入れて知識や技能を身につけていきます。

私ぐらいの年齢（5歳以上）だと、「学校でプログラミング教育が始まる」と聞くと、「え？あの『座標を決めて、円や四角を描いて、色塗って……』をやるの?」とか「コンピュータ言語でホームページづくり?」とか、反応してしまいます（いわゆる「コーディング」ですね）。また、「コンピュータと言えば、ゲームやSNSに子どもが浸かっているのに、これ以上子どもをダメにする気か!」などの意見もあるかな?どちらも違いますね。

ゲームやSNSからコンピュータを取り返し、児童と共に次代を拓くコンピュータの活用に親しんでいきたいと思います。

